

平成 31 年 4 月市長定例記者会見 記録

平成 31 年 4 月 23 日(火)

午前 10 時～午前 10 時 40 分

発表案件

1. 大型連休における観光客の入込状況について

今年のゴールデンウィークは、新天皇の即位に伴う国民の休日により 10 連休となります。大型連休を前に佐渡市における航路、宿泊施設などの予約から観光客の入込状況をお知らせさせていただきます。4 月 16 日現在の航路における予約状況では、4 月 27 日から 5 月 6 日までの連休中、約 5 万人の予約となっており、これは前年の約 3 万人に比べ 2 万人多くなっております。内訳としては、個人のお客様が約 4 万 3 千人、団体のお客様が約 7 千人となっております。個人団体とも増加しているということでございます。また、島内の期間中における宿泊の予約状況でございますが、島内の各観光旅館連盟に加入している宿泊施設 17 施設から聞き取りを行いました。4 月 27 日から 5 月 4 日までは、ほぼ満館であるとの回答を得ました。昨年と比べた場合、期間中の宿泊客が約 1 万人泊であったのに対し、今回は 1 万 5 千人泊の予約を頂いていることから、宿泊においても対前年比で 150%程度の増加をしているものと考えられます。

これらの増加の主な原因としまして、休日が連続することもさることながら、方面別の予約状況から分析しますと首都圏が大きく伸びています。このことから、3 月に実施した国の有人国境離島交付金を活用するなどした首都圏に集中的に投下したプロモーションが効果を発揮したものと分析しております。

2. 新元号記念イベントの開催について

5 月 1 日に皇太子殿下が即位され、令和の時代がスタートすることから、市では一般社団法人佐渡観光交流機構と連携しまして、新元号を祝うイベントを令和元年 5 月 1 日の 11 時 50 分から 12 時 50 分までの間、両津港佐渡汽船ターミナルの 2 階で開催いたします。内容は、横断幕の設置や佐渡島内 5 つの酒蔵のお酒ふるまいを行うイベントで、観光客の皆様をお迎えしたいと思っております。

また、お客様が立ち寄りと思われる施設やお宿を対象にしまして、新元号を祝う玄関用の貼紙を作成させていただきました。こちらでございます。この張り紙は、あいぽーと佐渡で準備しておりますので、希望される施設の方は、あいぽーと佐渡まで取りにきていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

3. 佐渡金銀山世界遺産講演会について

佐渡金銀山の歴史や価値について市民の皆様にご覧いただくため、先日 4 月 20 日にオープンしました佐渡金銀山ガイダンス施設きらりうむ佐渡の講堂を会場にしまして佐渡金銀山世界遺産講演

会を開催いたします。1回目は、5月25日土曜日の午後1時から、現在、当市の「史跡佐渡金銀山遺跡保存整備に関する専門家会議」の座長であり、国内における鉱山史研究の第一人者でもあります帝京大学文化財研究所所長の萩原三雄氏から、江戸時代における佐渡の鉱山技術の変遷についてをテーマにご講演していただきます。2回目は、7月6日土曜日の午後1時から、新潟県立歴史博物館専門研究員の渡部浩二氏から、絵巻から読み取る佐渡金銀山の歴史と文化をテーマにご講演していただきます。入場は無料で、各回とも定員は100名とし、事前のお申し込みが必要となります。

お申し込みにつきましては、市ホームページのお申し込みフォームもしくは電話、FAXにてお願いいたします。電話でのお申し込みは、佐渡市産業観光部世界遺産推進課（電話 63-5136）もしくは、きらりうむ佐渡（電話 74-2215）までお願いいたします。ぜひ、この機会にきらりうむ佐渡の展示をご見学いただくとともに、各専門家による佐渡金銀山の研究成果など貴重なお話をお聞きいただければ幸いです。多数の皆様からのご参加をお待ちしております。

4. 北沢浮遊選鉱場跡ライトアップの実施について

夜の魅力ある観光地作りのひとつとして、今年も国の史跡であります北沢浮遊選鉱場跡を活用したライトアップを実施しております。実施期間は、佐渡金銀山ガイダンス施設きらりうむ佐渡のオープンの平成31年4月20日から令和2年1月13日までの間、午後7時から午後10時までの時間帯に点灯いたします。LED照明を使いまして色彩豊かなライトアップをご覧いただきますが、四季の変化に合わせたプログラム変更も予定しており、長期間楽しめるものとなっております。特に今年は5月1日から5月6日の間にかけて、改元祝いの特別プログラムを予定しております。

期間中には、9月15日から11月30日まで第34回国民文化祭・にいがた2019及び第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会が開催されるほか、10月1日からスタートする新潟県・庄内エリアのディステーションキャンペーン、10月19日、20日には第12回みなとオアシスSea級グルメ全国大会 in 佐渡など多くのイベントが島内外で予定されており、これらのイベントにあわせて全国からお越しいただくお客様にもお楽しみいただけるものと考えております。佐渡の市民の皆様も、ご家族やご友人をお誘いの上、お楽しみいただければと思います。

5. 平成30年度佐渡市ふるさと納税の寄付実績について

平成30年度の佐渡市ふるさと納税は過去最高の寄付金額1億5,010万1,040円となっており、件数にして7,033件のご支援を賜りました。応援していただいた皆様には改めて御礼申し上げます。頂戴しましたご寄付は、お申込みの際にお選びいただいた寄付の用途に沿って大切に活用をさせていただきます。

平成30年度はインターネットから申込みできるサイトを1つから5つに増やし、地酒など新たに170の返礼品を追加したことや、首都圏郷土会など佐渡にゆかりのある方への継続的なPRが、今回の結果につながったと考えております。

今後も多くの方から佐渡市を応援していただけるよう、さらに工夫をこらしながら進めてまいりますので、よろしくお願いたします。

6. 2019 スポニチ佐渡ロングライド 210 の開催について

先日の4月21日に開催されました佐渡トキマラソン 2019 は、全国各地から2,369名の選手をお迎えして、大きな事故もなく無事終了することができました。市民の皆様には一部交通規制やノーカーデーにご協力いただき、また、沿道から多くのご声援で大会を盛り上げていただきましたことにつきまして、本当にありがとうございました。この場を借りまして改めて御礼申し上げます。

今年で14回目を迎えます2019 スポニチ佐渡ロングライド 210 を5月19日の日曜日に開催いたします。当日は、午前5時30分に河原田小学校グラウンド横の海岸線からスタートし、佐渡うみかぜラインへ向かいます。エントリー数はAからDコース合計で3,042名、このうち島外からは2,625名の方にエントリーいただきました。参加者の内訳でございますが、北は北海道から南は沖縄まで、また、海外ドイツからも1名のエントリーがあり、今後さらに海外からの参加者が増えることを期待しております。平成18年に第1回大会が開催された時は933名の参加でしたので、今では常時3倍強と国内最大級の自転車イベントとなっております。

大会前日の5月18日の土曜日は、16時から河原田小学校グラウンドで前夜祭が行われ、ゲストの道端カレンさんによるトークショーが行われます。その後、参加者にはトキ認証米など佐渡の特産品やスポンサーの方々からの豪華景品があたる抽選会も行う予定でございます。

大会当日は、それぞれのエイドステーションで佐渡の食材をふんだんに使った補給食の提供、汁物のサービスなど、おもてなしの心で選手をお迎えしたいと思っております。

なお、コースとなる道路は、多くの自転車が走行するため、車両の通行にご迷惑をおかけすることもあるかと思えます。市民の皆様にはご不便をおかけしますが、参加者や市民の皆様のお安全のため、5月19日はノーカーデーにご協力いただけますよう、よろしく願いいたします。

事前質問

なし

質疑応答

1. 大型連休における観光客の入込状況について

記者：

これ、首都圏が大きく伸びているってことですけど、方面別の割合ってどのようになっているのか。

観光振興課長：

方面別ですが、関東につきましては全体の約40%位というようようになります。新潟県内ですと、大体全体に比較して20%位。関東の中でも今回プロモーションを打った部分ということで、東京都、埼玉、神奈川の三県を集中的にプロモーションを行ったのですが、そこが伸びております。

記者：

関西方面は。

観光振興課長：

関西方面ですが、区分けとして近畿と中部というふうにして分けております。中部につきましては、長野、愛知、静岡、山梨、岐阜というようなところですが、ここにつきましては全体に比較した場合大体10%位。そして近畿につきましては大阪、京都、兵庫、奈良、三重、滋賀、和歌山というようなところなのですが、全体に比較して8%位です。

記者：

残りの27%はどこなの。

観光振興課長：

残りの27%ですが、北陸、東北というようなところがございます。ゴールデンウィーク中は、宿泊施設の値段が上がることから、あまり海外のお客様は来られる予定になっておりません。

記者：

首都圏に集中的に特化したプロモーションってのは、どういったものがあるのか。それと以前はやっておらず新たに始めたものなのかってのが一点と、もう一点、予約状況のその2万人増加というのは、ジェットフォイルの事故の影響はなかったといえるのか、それとももっと増えるはずのものが多少抑えられるという具合なのか、その辺の認識はどうなんでしょうか。

市長：

後半の部分をもっと私のほうから説明させていただきます。ジェットフォイルの事故で一隻体制で便数が半減しました。ただ、佐渡汽船の利用者数については、ジェットフォイルからカーフェリーへの乗り換えという形でしたので、基本的に大きくダウンしたということはなく、あまり事故に対する影響はなかったということでございます。あと、初めて行ったPRについては課長のほうから。

観光振興課長：

前段のプロモーションの内容についてご説明いたします。特に先ほど申し上げた首都圏の東京都、神奈川、埼玉、この3つのエリアに集中的にプロモーションをはかったのですが、ここの内容としまして、まずはテレビCMをそれぞれの地区で26本ずつ位出ております。あと、東京都に集中的にやったんですが、丸の内の地下鉄の駅ジャックということで、駅貼りのポスターを並べたり、デジタルサイネージで佐渡の動画を流したりというようなことを行いました。また、併せてインターネットで体験型の観光旅行に申し込めるような仕組みというものをリリースしております。

記者：

それは新しく始めたということでもいいんでしょうか。

観光振興課長：

新年度になってから勢いよくスタートダッシュが切れるようにということで、今回初めて3月中にプロモーションをやったものでございます。内容につきましても、デジタルサイネージとか、インターネットというところは従来からもやったところがあるのですが、テレビCMというのは初めてです。

2. 新元号記念イベントの開催について

記者：

佐渡は古くからの皇室ゆかりの地でもあるわけですが、こんな地でお酒をふるまうだけっていう感じなんだけど、例えば伝統芸能を披露するとか、もうちょっと考えられないの。

観光振興課長：

今回は観光客の方に対して佐渡で手作りの催し物ができないかということで企画してみたものでございます。今おっしゃられた芸能の部分というのは、当日色々他にも催しがあって他のところにも出て披露しているというところもありまして、今のところ芸能というのは考えておりません。

記者：

佐渡はご存知のとおり順徳上皇配流の地でもあるし、万葉の歌のいわれのある神社もあつたりするんで、なんかもうちょっとこうイベント面白いものを考えられるんじゃないですか。

市長：

これについては、あくまでも1日に佐渡へお昼に到着していただいた方を少しでもプラスαのおもてなしをしようということで、交流機構等含めて考えさせていただいたものでございますので、本当に元号が新たになる中での天皇家そのものに対応したイベントではなく、簡単なまずおもてなしをさせていただこうということでございます。規模的に小さいといわれれば申し訳ありませんというしか・・・。

記者：

10連休期間中、後半ですけども、多少ちょっと今までと違うようなことを何かやったらいいんじゃないかと。

市長：

ですから、先ほど北沢浮遊選鉱場の件と10連休及び元号に対して特別バージョンを用意するとか、そういう他のものでも連動しながらはやっております。あくまでも、これは両津港へお迎えする中身だけのことを発表させてもらいました。

記者：

昔は島開きで表玄関でくす玉を割ったり鬼太鼓を披露したりとかそういうのがあって、歓迎しますっていう感じがありますが、お酒を配るだけみたいな形ですよ。

市長：

この昼の部分だけですからね。丸一日ということはございません。あくまでもこの時間に到着していただくフェリーとジェットフォイルの乗客に対してという限定になってしまいますけども。

記者：

ちょっと細かい質問なんですけど、横断幕はどこに設置してどんな感じになるんでしょうか。

観光振興課長：

横断幕ですが、今佐渡汽船のビルのほうと調整中というところなんです。ちょっとすごく小さくて見づらいんですけども、このようなものになっております。

記者：

先ほどの貼り紙と同じような感じですか。

観光振興課長：

デザインの的にはそうです。

記者：

じゃあ、貼る場所が調整中と。

観光振興課長：

調整中でございます。ある程度長さがあるものですから、スペースが必要になります。

記者：

横なんですね。

観光振興課長：

はい。横長です。

3. 佐渡金銀山世界遺産講演会について

なし

4. 北沢浮遊選鉱場跡ライトアップの実施について

記者：

5月1日からの特別プログラムって、どんなことをやるんですか。

観光振興課長：

5月1日からのプログラムにつきましては、イメージ的に祝いムードということで、紅白をイメージしたようなプログラムを考えております。北沢浮遊選鉱場のライトアップはコンピュータとLEDの組み合わせで演出を変えております。この5月1日から連休終わりの5月6日までにつきましては、この紅白のプログラムを展開しようと考えております。

5. 平成30年度佐渡市ふるさと納税の寄付実績について

記者：

入ってくる額は1億5,010万円ということだと思うんですけども、逆にふるさと納税制度で島外の自治体に流出した額というのはわかるものでしょうか。

地域振興課長：

島外に出た、佐渡市の市民の方が納税をされた額ということでございます。それはこちらのほうでは掴んでおりません。

記者：

前年実績とか、これまでの寄付額の流れみたいなのを教えてほしいです。

地域振興課長：

平成27年度ですけれど約1億2,600万円。平成28年度1億2,800万円。平成29年度9,300万円で、平成30年度が先ほど説明がありましたように1億5,010万1,040円でございます。

6. 2019 スポニチ佐渡ロングライド 210 の開催について

なし